



貴重な寝台車を補修

津別町寝台車保存会来町

10月5日、「鉄道友の会客車気動車研究会」の皆さんが、寝台車の復元作業のため来町しました。
寝台車は、21世紀の森キャンプ場入り口に設置されているもので、同会では令和5年からキャンプシーズンの前後に定期的に来町し、ボランティアでの修復活動を行っています。



交通安全を願って

小・中・高合同交通安全運動

10月21日、国道240号（さんさん館付近）で、小・中・高校生あわせて165名が交通安全の旗や横断幕を掲げ、「安全運転をお願いします」と元気に声を上げ、通行するドライバーに交通安全を呼びかけました。



卒業後は町内を拠点に写真業

地域おこし協力隊 大竹隊員卒業

10月6日、大竹駿二さんが、地域おこし協力隊の任期を終え卒業しました。
現在は、個人事業主として町内を拠点にウェディングフォトなどの写真業や映像制作業を主として活動していく予定です。



ポケふたが津別町にやってくる

北海道「ポケふた」お披露目式

10月15日、北海道（北海道と㈱ポケモンの包括連携協定）より、ポケモンマンホール蓋「ポケふた」が旧北海道庁赤レンガ前にて当町に贈呈されました。
今後は、子どもたちの遊び場である木材工芸館キノスの入り口にポケふたを設置する予定です。



現役力士に教わる

矢後関相撲教室および新土俵お披露目記念大会

10月5日、温水プール「すいむ」横に新設された相撲場にて矢後関相撲教室が津別町相撲協会主催で開催されました。
道内各地から約100名の子どもたちが参加し、現役力士から直接指導を受けました。記念大会も行われ、会場は子どもたちの歓声と熱気に包まれました。



好天の下で健脚を競う

第23回つべつ紅葉マラソン大会

10月5日、快晴の空の下で「第23回つべつ紅葉マラソン大会」が開催されました。幼児から年配者まで、町内外287名のランナーが、体力、経験に応じて3kmコース、5kmコース、10kmコースにエントリー。午前10時30分、スタートの合図とともに走り出したランナーたちは、各スタート地点から津別小学校グラウンドのゴールを目指しました。
ゴール後にはカレーを食べながら参加者同士で健闘をたたえ合い、大会は大いに盛り上がりしました。

